

## 事後評価に対する意見一覧（河内長野市上下水道事業 経営懇談会委員より聴取）

### 2.「河内長野市下水道における安全・安心な都市計画の確保(その3)(防災・安全)」について

#### 2-1.計画の成果目標(定量的指標)の設定および事業の効果について(評価指標の実現状況、事業効果の発現状況等)

- 1. 指標の設定について。安全・安心な都市生活の確保には震災対策が必要であり、その対策の一つとして管路の耐震化が求められるので、上下水道事業ビジョンで掲げられている「管路の耐震化率」の向上も指標としてはどうか。現に今回の事業として「下水道総合地震対策事業」があり、汚水管の耐震診断、耐震化を行っている。2. ○目標値の達成状況での差が出た要因の記載について。「…精査した結果、調査数量が少なく…」は「…精査した結果、調査必要数量が少なく…」の方がより意図が理解しやすいのではないかと。
- 工事の先送りの影響が出る指標以外は概ね目標を達成されており、且つそれらの内容に関する指標の選定・目標値の設定についても適切であったものと考えます。
- 下水道管渠について、市内での箇所数などもうすこしくわしく説明があればと思います。マンホールトイレについては、1年の目標・達成状況はわかるが、市として何ヶ所設置し最終目標となぜ1年間の箇所の選定理由がわかりにくいです。
- マンホールトイレの設置は今後計画はどうなるのか。
- 目標設定適切であったと思います。想定より安価に抑えられたのが良かったと思います。

#### 2-2.計画の要素事業の達成状況について(要素事業の進捗状況等)

- 当初計画よりも安価に抑えられたことは望ましいものと考えます。他方、執行体制や財政上の制限に関する予見性については今後の課題であるように思われます。

#### 2-3.その他(今後の方針等)

- 調査の結果、緊急度の高い管路が想定以上に確認されている反面、財政および執行体制上の理由により事業の進捗が遅れている状況を危惧します。緊急度の高い管路は、年数の経過に伴って増加すると予想されるため、今後も継続的なモニタリングが必要とします。
- 「事後評価（案）」の「○事後評価の実施体制、実施時期」での実施体制で庁内の評価体制についても記載してはどうか。資料2「社会資本整備総合交付金に係る計画等について（抜粋）」【中間評価及び事後評価】の3において、地方公共団体自身がまず評価を行うことになっていると思いますので。
- 市民の方々が、わかりやすい表現にして頂ければと思います。